



車いす体験



アイマスク体験



アイマスク体験

子どもたちのさらなる成長を願って



手話体験



車いす体験

もくじ (主な内容)

新年のあいさつ	2P
共同募金中間報告	3P
下松市社会福祉振興大会	4, 5P
善意の花束	6P
掲示板	7, 8P

10月から11月の間、市内3小学校で、障がいについての理解や車いす利用者へのお手伝いの方法を学ぶ、福祉体験学習を行いました。

児童の皆さんからは、「困っている人がいたら優しく声をかけたい」「ふくしは世界中の人々が幸せに暮らせるためにある」といった感想が聞かれました。

社会福祉協議会は学校と連携した福祉教育を通して、地域の皆さんが暮らしやすい、やさしいまちづくりに取り組んでいます。



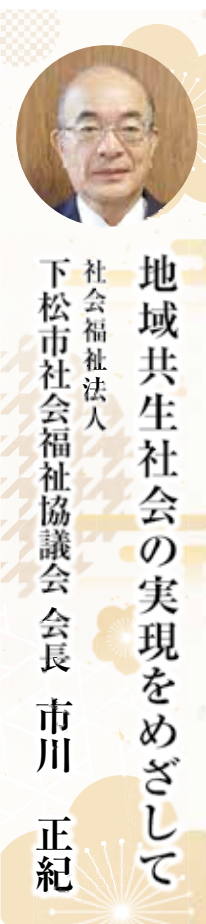
さて、昨年は世界中が新型コロナウイルス感染症の災厄に見舞われました。このような中、医療に従事される皆さんが、治療法も確立されていない中で、自らの命の危険を顧みず、使命感を持って日夜献身的に治療に当ってこられたことに心からの敬意と感謝の意を表したいと思います。

あけましておめでとうございませう。今年のお正月をどのように迎えられるでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、遠方に居られる方が帰省されなかったり、初詣の日を変えられたりしたご家族もあったのではないかと存じますが、この一年が皆様にとりまして幸多き年となりますようお祈りいたします。平素は、本会の運営や活動等に温かい御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も何卒宜しくお願いいたします。

この新型コロナウイルス感染拡大により、かつて経験したことのない広範囲な社会・経済活動の停滞が、個人や事業者の収入の減少や休業等を招き、経済・雇用状況は大変厳しいものになりました。そのため、緊急小口資金等の特例貸付や生活困窮等に係わる相談に非常に多くの方が本会を訪ねられました。

一方、地域社会では少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加、働き方の多様化等により、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、その結果、孤独死や自殺、ひきこもり、8050問題や生活困窮等、様々な地域生活課題が顕在化してきました。

このような中、国においては子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が地域、暮らし、生き甲斐を共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が提唱され、「他人事」になりがちな地域づくりを、地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みの構築に向けた施策が推進されているところです。



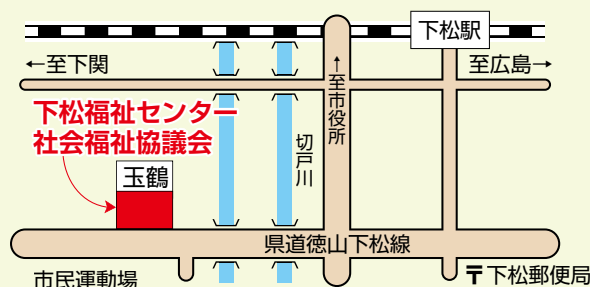
私ども社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、住民のつながりを大切にし、公的施策では成し得ない、住民主体のきめ細やかな地域福祉活動の展開を通し、福祉のまちづくりを進めることが本会の使命であると再認識するとともに、役職員一同「誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」に向け、公私協働で取り組んでまいり所存ですので、今年も一層の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

気持ちよく新年が 迎えられるように

12月25日、下松老人福祉会館「玉鶴」で中国電力下松発電所並びに関連企業の皆さんの年末奉仕活動がありました。普段、職員の手が届かない場所を中心に電気器具のそうじなど汗を流していただきました。



社会福祉協議会案内図



〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号

～「赤い羽根共同募金運動」「歳末たすけあい運動」へ たくさんのご支援ありがとうございました～



10月1日から12月31日まで実施しました赤い羽根共同募金に、各自治会をはじめ、福祉関係団体、各事業所、学校、子ども会、その他多くの皆さまのあたたかい御理解と御協力により、多額の募金が寄せられました。

皆さまからお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動の推進や障がい者団体などの事業費として有効に活用されます。



歳末たすけあい募金 (下松市共同募金委員会)

地域歳末見舞金	38件	190,000円
福祉施設見舞金	6施設	120,000円
歳末福祉活動	9件	90,000円

善意銀行 (下松市社会福祉協議会)

福祉施設見舞金	6施設	180,000円
交通遺児等見舞金	3件	90,000円

皆様から寄せられた募金額

9,270,800円
(令和3年1月4日現在)

戸別募金	7,629,250円
法人募金	884,516円
職域募金	268,464円
街頭募金	0円
学校募金	153,190円
その他の募金	335,380円

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から街頭募金は実施されませんでした。



今年度は、9団体のサロンから申請があり、参加者でケーキやぜんざい作り、講師を招いてのフラワーアレンジメント、押し花作りなど趣向を凝らしたメニューを通して、地域のつながり作りに取り組まれました。

歳末たすけあい募金を活用して、12月から1月の間、子ども会や自治会などの地域団体と連携した事業を行う「ふれあいいきいきサロン」の団体に活動助成を行っています。



令和2年度 下松市社会福祉振興大会

11月17日、スターピアくだまつ展示ホールで、「令和2年度下松市社会福祉振興大会」が開催されました。

この大会は、〝だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり〟をめざして、福祉関係者が一堂に会し、地域福祉のより一層の推進と社会福祉の発展に資することを目的に式典と講演が毎年開催されます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が危ぶまれましたが、感染症の予防対策として、参加者を制限し、式典のみとすることで無事開催することが出来ました。

式典では、長年にわたり社会福祉の向上に尽力された功労者に國井市長から市長表彰（1名）が、市川社会福祉協議会長から社会福祉協議会長表彰（32名・3団体）、感謝状（2名）が贈られ、敬意と感謝の意を表しました。



受賞おめでと〜ございます
（順不同敬称略）

下松市長表彰

【社会福祉関係功労】 1名

浅原郁子（藤光町）

下松市社会福祉協議会長表彰

【市社協・地区社協関係功労】 5名

國重文男（潮音町）
友松和子（望町）
小林泰昭（切山）
秋貞重子（生野屋）
國本由紀江（生野屋西）



【民間施設、福祉関係団体功労】 4名

黒田幸子（西豊井）
近藤洋子（末武上）
野田正徳（光市）
徳永直美（桜町）

【民生委員児童委員功労】 9名

下村玲子（瑞穂町）
角文子（温見）

清木宣彰（河内）

弘中洋一（西豊井）

藤田和成（生野屋）

石丸美恵子（南花岡）

片岡邦夫（東陽）

武田保男（東陽）

木原真紀子（来巻）

【福祉員功労】 3名

金子泰三（瀬戸）
有近公子（せせらぎ町）
繁澤ミツエ（西市）



【自治会長功労】 1名

橋本稔（西市）

【ボランティア功労】 10名

奥田京子（大手町）
伊藤清子（下谷）
河野敏子（生野屋西）
田中佳代子（東陽）
（下松点訳・音訳友の会）

（米川ボランティアグループ）

（花岡社協ボランティア部）

（下松点訳・音訳友の会）



西村 啓子 (西柳)
 〈下松認知症を支える会えくぼの会〉
 在津 留里子 (西柳)
 〈まつぼっくりの会〉
 吉 永 昭恵 (東豊井)
 〈なでしこの会〉
 國 居 奈津子 (南花岡)
 〈ボランティアグループすみれの会〉
 佐々木 可愛 (旗岡)
 〈朗読Junな心の会〉
 河村 國子 (東陽)
 〈話そう会〉
 【ふれあい・いきいきサロン功労】
 3団体
 サロンとよい
 大藤谷ふれあい・いきいきサロン
 サロン松中
 【感謝状】
 2名
 河村 堯之 (東豊井)
 村岡 博徳 (東陽)

山口県 総合社会福祉大会

10月28日、美祢市で、「第70回山口県総合社会福祉大会」が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。しかし、各団体による表彰や大会宣言、部会報告等は実施され、下松市から次の方々が受賞されました。
 おめでとうございます。
 (敬称略)

☆社会福祉事業功労者表彰

山口県知事表彰

【社会福祉事業功労者】

民生委員・児童委員

庄田 幸子 長野 光雄

社会福祉事業団体関係者

六反 弘道

山口県社会福祉協議会長表彰

【社会福祉事業功労者】

亀田 浩子

山口県共同募金会長表彰

【共同募金運動奉仕者】

中村 征子

山口県老人クラブ連合会長表彰

【特別功労者】

六反 弘道

【一般功労者】

浅本 正孝

山口県選奨

(令和2年11月20日の選奨式で受賞)

【社会福祉功労】

上田 園子

全国民生委員児童委員連合会 会長表彰

(令和2年10月22日の全国大会で表彰)

【永年勤続民生委員・児童委員 表彰】

佐古 恵子

福祉 なんでも相談

相 談	日 時 ※祝日は除く
行政相談 (国の仕事に関すること)	毎月第3木曜日 13:00～16:00
心配ごと相談 (日常生活を送るうえでの悩み)	毎週水曜日 13:00～16:00
福祉総合相談 (福祉に関すること)	月曜日～金曜日 8:30～17:15

場 所 下松市西市二丁目 10-16 下松福祉センター 電 話 44-0300

～「はたちの献血」キャンペーン～

1月1日から2月28日までの期間中、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く国民各層へ献血に関する理解と協力を求め、冬季における献血者の確保及び献血運動を全国で盛り上げることを目的に、イベントを実施します。

【と き】2月7日(日)

10:00～12:00 13:15～16:00

【ところ】サンリブ下松



☆当日、献血をされた方には粗品をプレゼント!
 ☆新型コロナウイルス感染症の発生状況により
 変更・中止することがあります。

善意の花束

社会福祉事業のために、市民の皆様から、善意銀行に届明けその他の厚志を含めてたくさんの方の善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。

なお、氏名・金額はご了承いただいた方のみ掲載しています。(順不同)

令和2年9月16日(令和2年12月31日 受付分)

香典返し

河内 匿名 名様 三〇、〇〇〇円

大手町 白井一郎様 一〇〇、〇〇〇円

(御母堂) 瑠美様

笠戸島 山本啓二様 一〇〇、〇〇〇円

(御尊父) 昇様

一般寄付

瀬戸内ひらめ友の会様 四八、〇二〇円

累計 二、九一五、四四一円

防府市 高野アサコ様 一〇〇、〇〇〇円

野上こうじふれあい会様 七、五八六円

累計 二一、五五五円

下松グランドゴルフ協会様

八、〇〇〇円

東陽 匿名 名様 三〇、〇〇〇円

昭和町 匿名 名様 三、〇〇〇円

下松商工会議所女性会様 二〇、〇〇〇円

累計 六四〇、〇〇〇円

匿名 名様 二、〇四八円

交通遺児基金

株式会社北斗工事様 一九、七八六円

累計 二七〇、七二九円

指定寄付

日立製作所労働組合笠戸支部様

日立ハイテク労働組合笠戸支部様

一四三、一七九円

累計 一七、九二九、〇〇八円

物品寄付

マルハン下松店様

匿名 名様

米一〇キロ他

介護用品(紙おむつ)

リングブル

使用済切手

二四件

三二件

二件

災害義援金

(令和2年4月～12月受付分)



下松市連合婦人会

令和2年7月
豪雨災害義援金

1件 53,081円

☆あたたかいご支援
ありがとうございました。



11月18日、下松老人福祉会館「玉鶴」で瀬戸内ひらめ友の会の第30回バラエティショーが開かれました。残念ながら今回で最後となりましたが、利用者も出演者も一緒に楽しいひと時を過ごしました。

これまでの30年間、募金箱を毎回設置し、寄付にご協力をいただきましたことについて厚くお礼申し上げます。

訪問介護員 募集!!

詳細については、お気軽にお問い合わせください。

職種

訪問介護員(パートタイマー)

業務内容

高齢者、障がい者などのお宅を訪問して、家事や介護のサービスを提供します。

- ・身体介護(食事介助・清拭・入浴介助等)
- ・生活援助(掃除・洗濯・調理・買い物等)

採用人数 若干名

採用資格

次の条件を満たしている方

- ① 介護職員初任者研修課程修了又は
ホームヘルパー養成研修2級
- ② 普通自動車免許



空いた時間を有効活用しませんか。私たちと一緒に働きましょう!!

問い合わせ先
下松市社会福祉協議会まで
☎ 41-2242

掲示板

お互いさまの地域づくり



10月から1月の間、老人クラブと地域の関係者の連携づくりを目的に、令和2年度地域支え合い担い手養成講座（全4回）が山口県老人クラブ連合会の主催で開催されました。

10月26日、ほしらんどくだまつで第2回目が行われ、市シニアクラブ会員を中心に47人の参加がありました。

はじめに、山口大学大学院講師の長谷亮佑氏から「老人クラブの“これから”を考える～連携による支え合いの実践に向けて～」と題した講義がありました。

講義では、今後、介護人材が不足するため、専門職が介護度の重い人から軽い人まで支援する「饅頭型」から、介護度が重い人は専門職が支援し、介護度が軽い人は地域住民が支援していく「富士山型」に形を変えていく必要があることを分りやすく話されました。

また、公的サービスだけでなく、地域住民主体で色々な助け合いができる地域は今より暮らしやすくなるが、助け合いができない地域はどんどん暮らしにくくなることを参加者一同理解することができました。

その後、地区ごとに分かれ、グループワークを行い、お互いのシニアクラブの活動状況や問題点について共有し、地域課題の解決に向けた連携について考える貴重な機会となりました。



共に学び語らう。 健康維持、

11月29日、下松福祉センターで健康づくり教室「生活習慣病予防～高血圧改善・予防のコツ～」が下松手話あじさいの会の主催で開催されました。

マスク着用が定着した今、表情や口形が大変読み取りづらく、聴覚障害者の中でも、特に手話での会話を好まれる方々がコミュニケーションに不安やストレスを感じていらっしゃるのではないかと手話で思いっきり話せる場を！と企画したものです。

下松市健康増進課から講師をお招きして、血圧のコントロール、一日の食塩摂取目標量に加え、インフルエンザとの判別が難しい新型コロナウイルス感染症の症状もお話いただきました。また、手話あじさいの会からは、もしも発熱等の症状が出た時のために、受診相談について紹介しました。



感染症予防対策を徹底、手話通訳を担当する者は透明マウスシールドを着用、短時間での開催となりましたが、下松市ろうあ協会からの参加もあり、「薬を服用して正常値を保っているからと安心していましたが、運動もしない、塩分も少しの薄味に気をつけているだけだった。初心にかえります」「今までは風邪？コロナ？と迷った時の相談先が分からなかった。新しい情報を見落とさず、気を引き締めて過ごそうと反省。参加して良かった」との感想をもらいました。

未来へのかけ橋

学習塾に通っていない市内の中学生を対象とした学習支援、「くだまつ未来塾」が、末武公民館で開催されています。

主にテスト週間中の休日に登録生徒（49人）が自主学習を行っており、退職教員等のボランティアスタッフに質問をしながら熱心に勉強しています。

「くだまつ未来塾」の登録は、市教育委員会生涯学習振興課、市内各中学校、下松市社会福祉協議会で申し込みが出来ます。子どもの学習状況や親の悩み事等に寄り添いながら、必要に応じて相談支援を行っています。



みんなにエール!

新型コロナウイルス感染症の流行により、収入減少に伴う生活費等の負担が増加しています。

そのような状況の中、ひとり親世帯に対して、ほしらんどくだまつで11月27日と12月4日の2日間、「食」の支援を行う企画「みんなにエール! 弁当プロジェクト」が山口せわやきネットワークの主催で開催されました。

当日は応募があった約50世帯に対して、お弁当を配布する際に、下松市社会福祉協議会の相談窓口と赤い羽根共同募金地域歳末見舞金の紹介も合わせて行いました。



11月7日、米川公民館で米川地区認知症見守り声かけ体験会を実施しました。

参加された67名の皆さんは、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の方への基本姿勢や、具体的な対応など声掛けのポイントを学習しました。

その後、7グループに分かれ、認知症高齢者役の人が行方不明になったとの設定のもと、発見・保護した際の声掛けの実務訓練や情報の連絡・報告体制の確認を行いました。

当日は、あいにくの雨となったため、屋内での実施となりましたが、認知症への理解を深め、本人に配慮した声掛けや見守り方法を熱心に学ばれました。

相手の立場になって

居宅介護支援事業所の閉鎖のお知らせ

本会では諸般の事情により、令和3年3月31日をもって居宅介護支援事業所を閉鎖することになりました。

平成12年の介護保険制度創設以来、本事業を実施し皆様方には長年にわたり、御支援と御協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

なお、訪問介護事業所は今後とも事業を継続してまいりますので、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



次回発行は6月号です

